

## 放課後等デイサービス自己評価表（合議結果）

実施日： 最終合議：令和6年1月25日（木）

事業所名 放課後等デイサービスセンターまるべりー

合議日： 令和6年1月24日（水）

職・氏名 千田・田中・伊東・成田（和）

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係は適切であるか		○		基準は満たしているが、曜日や長期休暇の場合は不足を感じる。事務室を活用したり、公園等の外遊びで対応している。
	2	職員の配置数は適切であるか		○		基準は満たしているが、曜日、利用人数、学校休業日の時は不足している。最低限の見守りと送迎を工夫して対応しているが、次年度は職員の補充を図る。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			保育園、高齢者住宅併設の建物上、適切にバリアフリー化されている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			PDCAシートは用いていないが、他の振り返りワークシートを活用して話し合い、業務改善を行っている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者向け評価を実施して意向等は把握し、その結果をもとに職員間で話し合い業務改善につなげている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			毎年自己評価は行っており、その結果を保護者へ配付し、法人ホームページでも公開している。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者による外部評価は行っていない。検討課題とする。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			必要に応じて参加の機会を設けている。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	○			アセスメントシートを活用してニーズや課題を分析し、モニタリングを経て個別支援計画に反映させている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントシートには日常生活動作及び行動障害の項目があり、適応行動が把握できるシートになっている。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			申送り、職員会議等で話し合いを行っている。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか		○		固定化しないように工夫はしているが、児童によっては固定化が必要なこともある。その児童の特性に合せながら柔軟に対応していく。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		行事の場合は具体的に進めているが、日々の活動の場合は状況に応じて対応している。今後の検討課題とする。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	○			相談支援事業所のサービス等利用計画とモニタリング、本事業所のモニタリングを反映させて作成している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか		○		基本的には行っているが、ケースバイケースの時もあるので、次年度からはしっかり行っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		基本的には行っているが、ケースバイケースの時もあるので、次年度からはしっかり行っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			活動日誌及びケース記録をつけており、支援会議等を通して改善につなげている。
	18	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリング時の支援会議を通じて、必要に応じて見直しを行っている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか		○		複数の組み合わせまでは行っていないため、今後の検討課題とする。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			各担当者を決めており、その者が参画できるように配慮している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			学校及び保護者を通じて、年間計画や月間予定表等の情報共有を行っている。送迎時刻の変更やトラブル時にも連絡体制ができています。令和4年度から送迎マニュアルを整備している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	該当者なし(看護師がいないため、医療ケアが必要な子どもは受け入れていない。)
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		必要に応じて連携、情報共有を行っている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	事例なし(該当者なし)
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○		必要に応じて連携し、研修を受けるようにはしている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	新型コロナウイルス発生から特に設けていない。今後の検討課題とする。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			連絡帳や送迎時に保護者へ伝えおり、保護者懇談会では個別に話し合いを行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	次年度の検討事項とする。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			支援開始前の契約手続きで行っている。運営規程等に変更があれば、その都度説明した上で同意を得ている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			日々の送迎時や保護者懇談会を通じて行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	父母の会は組織されていないが、保護者懇談会で保護者同士の連携は深め支援は行っている。
非常時等の対応	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			必要に応じて対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			年1回の広報誌と毎月の活動予定表を配付している。本年度は、活動予定表をA4からA3にして写真等の掲載を増やし、保護者に活動状況をPRしている。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			法人の就業規則等に規定し、順守徹底を図っている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			基本情報、相談支援専門員、関係機関等から情報収集しながら取り組んでいる。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	新型コロナウイルスの影響もあり、現在は行っていない。但し、実習生やボランティアの受け入れはしている。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
非常時等の 対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか			○	防犯マニュアルが未整備のため、次年度は作成して保護者に周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			併施設事業所と合同の消防訓練を年2回実施している。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			令和4年度に虐待防止マニュアルを作成し、委員会も組織している。研修は年2回行っており、虐待防止に努めている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			令和4年度より個別支援計画にその旨を記載して保護者から同意を得ている。また、身体拘束に関するマニュアルも作成している。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	事例なし(該当者なし)。但し、今後該当する児童が出てくる場合は対応していく。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事例集までは至っていないが、様式等は整備してヒヤリハットに取り組んでいる。